

富山小学校だより



No. 13

貴重な体験 米づくり活動

本年度も4月から、たくさんの方々のご指導とご尽力をいただき、下記の表のように『米づくり活動』の貴重な体験ができています。学校だけでは、このような活動はできません。学校を支えてくださる皆様がいらっしゃるお陰であると感謝の気持ちでいっぱいです。



・ ・ 米づくり活動の足あと ・ ・

4月20日(水)	種もみまき
5月19日(木)	田植え
9月20日(火)	よりづくり
10月11日(火)	なだらづくり
10月12日(水)	稲刈り
11月2日(水)	脱穀

学校だよりNo.2で「種もみまき」について、学校だよりNo.5で「田植え」について記載しておりますので、この二つの活動については写真のみで振り返りたいと思います。今回の学校だよりでは、「よりづくり」の活動から紹介します。

【種もみまき】

【田植え】

なお、脱穀の後、精米(〇〇〇〇さんにお世話になりました。)した米の一部はポン菓子にして、一人暮らしのお年寄りの方にお配りしたり、収穫祭で使用したりしたいと思います。



【よりづくり】

〇〇まちづくりセンター長さんが「わら」の準備をして下さり、当日の講師として、〇〇〇〇さん、〇〇〇〇〇さん、〇〇〇〇さんをお招きして、ご指導をいただきました。

人間の手によって、「わら」が「より」になっていくのは、まるで手品のような感じがします。子ども達は楽しそうに「よりづくり」に挑戦していました。



【なだらづくり】

〇〇まちづくりセンター長さんのご指導で、5年生6年生が「なだらづくり」をしました。子ども達は、協力しながら木や竹を運ん



だり、ひもを結んだり、良い体験になったと思います。子ども達が竹にぶらさがってもびくともしない丈夫な「なだら」が完成しました。

【稲刈り】

〇〇さん、保護者の皆さん、ご家族の皆さんにお世話になり、収穫の喜びを味わいながら「稲刈り」をすることができました。毎年、経験させてもらっているのでも、高学年になるにつれて上手になっていきます。



1年生2年生は、稲を運ぶ仕事を中心でしたが、終わりの頃になって、1年生2年生も6年生の子と一緒に稲刈りをする事ができました。高学年の子が、優しく低学年の子ども達のお世話ができて、ほほえましく思いました。

刈った稲は、軽トラックで学校まで運んでいただき、「なだら」に干して行きました。この場所は校長室前の廊下からよく見えます。この景色を楽しむのが、毎日の日課となりました。



【脱穀】

〇〇〇さんにお世話になり、5年生6年生の子ども達で脱穀をさせていただきました。稲の束が機械によってあっという間に脱穀されるのを、間近で見たり体験することは大変迫力があります。子ども達はこの迫力を体で感じながら、一生懸命に働いていました。

また、〇〇さんが米の水分を測定されるのを見せてくださり、良い勉強になりました。

6年生にとっては、小学校での2回目の脱穀となりました。最上級生として体験したこの活動は、5年生の時とはまた少し違った感動があるのではないかと思います。



本やビデオ、パソコン等でも、「米づくり」について様々な知識を得ることはできますが、やはり、体験学習ほどの成果は得られないと思います。体験することによって、知識が記憶としてしっかりと定着し、様々な技術の習得にもつながります。そして、友達と一緒にこのような活動をしたことは、小学校での楽しい思い出として心の中に強く残っていくと思います。



これからも、「米づくり活動」だけでなく、いろいろな体験学習を大切にしていきたいです。